



# 青南だより

令和2年10月号

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## <焦らずに、楽しい子育てを目指しましょう>

心の子育て講座以降、誰もが悩む子育てについて、いろいろと話題にしています。その後、子どもを信じて見守ることや焦らず待つことを意識してお子さんに関わろうとしていることが感じられます。とは言え、大人が変わることは、子どもが変わるよりずっと難しいことですから、焦りは禁物です。大人も幼稚園で3年かけて「楽しい子育ての修了証書」がもらえるように、じっくりといきましょう。

## <褒めてもらえればやる気が増します>

17日の園内研では、子どもたちが安心して自己発揮できている姿がいろいろな場面で見られ、それを共通理解することができました。講師の大竹先生には、青南幼稚園の自然の豊かさやそれを生かした保育、それを創り出している先生たちの頑張りや前回の指導を受けて改善した点などを褒めていただきました。子どもたちが、なりたい自分になるために、発達段階を踏まえた経験ができるような指導ができていると認められたことは、大きな自信と励みになりました。子どもも大人も褒めてもらえれば、自然と意欲が高まりますね。

## <安心できる子どもの園>

このところ、年少児が幼稚園を安心できる自分の居場所だと感じ、先生や友達との関わりでも素の自分を出してきています。右の写真は、園庭でたっぷり遊んで部屋に戻って来たとき、「あーおもしろかった」と心地よい疲れと満足感からゴロンと横になった場面です。とても自然に一人の動きが友達に伝わった印象的な一コマでした。横に行って同じ動きをしてみると、何とも気持ちよく、私も子どもたちとの一体感を感じると同時に、子どもたちの確かな成長が感じられた、うれしい瞬間でした。

### 青南の 二十四節気

・・・神無月(かなづき)・・・

かんろ 寒露(8日)・・・空が澄み、柿の実が色付き始めます・・・

そうこう 霜降(23日)・・・数珠玉が色付いて取り頃になります・・・

今年もお彼岸に合わせるように、裏庭に赤と白の彼岸花が咲き始めました。毎年咲く花ですが、今年はそのことの有り難みを特に強く感じます。園庭のフェンスに実っているブドウをカラスが狙っていることに気付き、去年のことを覚えていた年長児がブドウを守ろうと袋を掛けました。砂場の上のザクロも裏庭の柿も、青南の豊かな自然は、おいしい実りももたらしてくれます。『春は芽のもの、夏は葉のもの、秋は実のもの、冬は根のもの。これ全て自然からの贈り物です。』



紅白玉を使って楽しい遊びを発明!



七夕の竹を使ってのバンブージャンプ  
断続的に2か月も続いています



大竹先生からのご指導が保育に反映



何だか気持ちいいね〜。ホントだね。



先生も一緒に鬼ごっこ!先生大好き!!